

基礎データ (令和2年10月1日現在) 出典: 2020年度国勢調査 人口・世帯関係データ
○地図

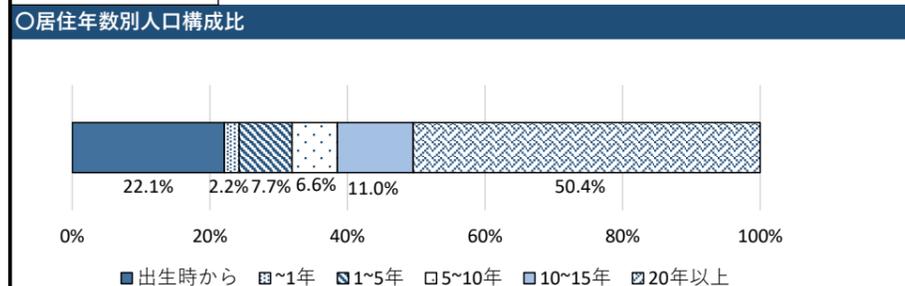


○人口データ

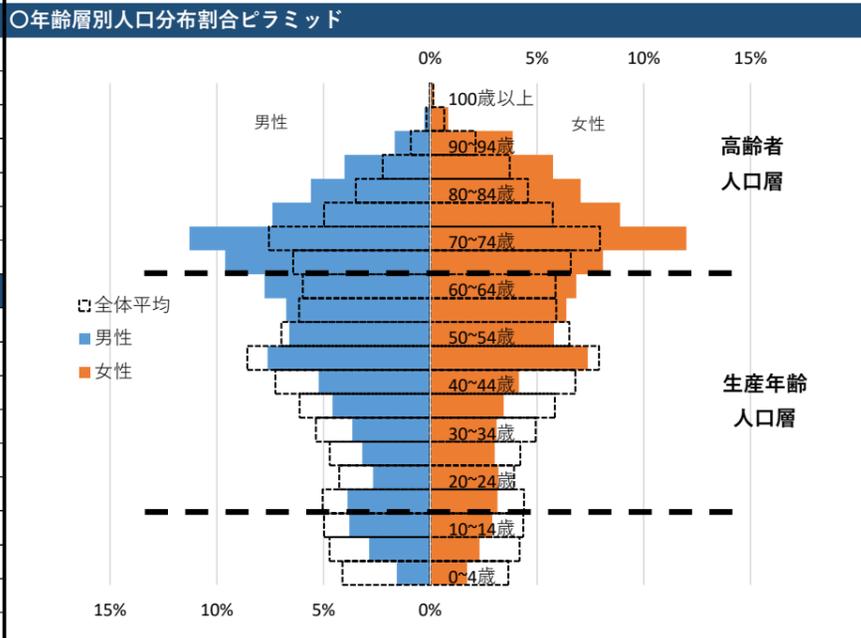
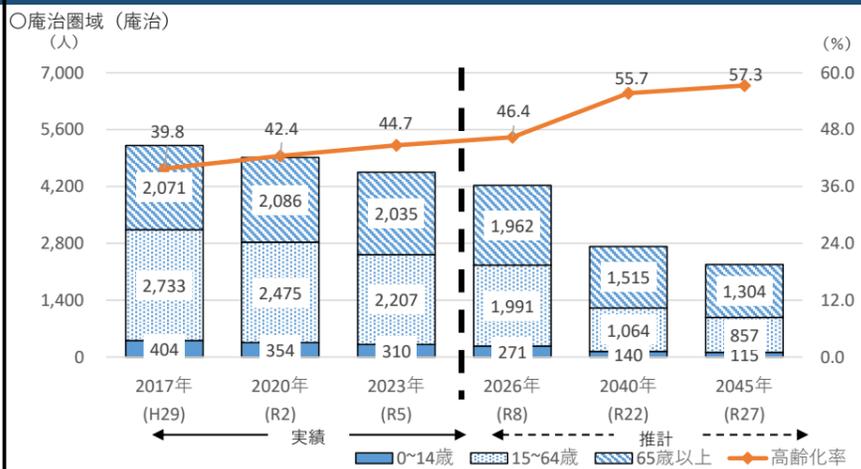
人口	4,592 人 (1.1%)	【 市 417,496 人 】
男性	2,192 人 (1.1%)	【 市 202,029 人 】
女性	2,400 人 (1.1%)	【 市 215,467 人 】
平均年齢	56.0 歳	【 市 47.5 歳 】
高齢化率	43.0 %	【 市 27.6 % 】
後期高齢化率	22.7 %	【 市 13.9 % 】
外国人数	69 人 (1.9%)	【 市 3,577 人 】

○世帯データ

総世帯数	1,851 世帯 (1.0%)	【 市 187,144 世帯 】
核家族世帯数	1,096 世帯 (1.1%)	【 市 103,254 世帯 】
(核家族世帯率)	59.2 %	【 市 55.2 % 】
18歳未満同居数	248 世帯 (0.7%)	【 市 37,246 世帯 】
(18歳未満同居率)	13.4 %	【 市 19.9 % 】
65歳以上世帯員を含む世帯数	1,231 世帯 (1.7%)	【 市 72,524 世帯 】
(65歳以上同居率)	66.5 %	【 市 38.8 % 】
高齢者のみの世帯数	647 世帯 (1.4%)	【 市 44,722 世帯 】
(高齢者のみの世帯率)	35.0 %	【 市 23.9 % 】
高齢者独居世帯	308 世帯 (1.4%)	【 市 22,457 世帯 】
(高齢者独居世帯率)	16.6 %	【 市 12.0 % 】
3世代同居	146 世帯 (2.5%)	【 市 5,850 世帯 】
(3世代同居率)	7.9 %	【 市 3.1 % 】



○人口推計グラフ (実績: 住民基本台帳各年10月1日 推計: 高齢者保健福祉計画)



○地域資源データ

医療機関 (令和8年1月)

2	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

歯科医院 (令和8年1月)

1	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

介護サービス (令和7年4月)

居宅介護支援事業所	1	訪問型サービス	1
通所型サービス	2	地域密着型サービス	1
施設系サービス	1	サービスB	1

買い物施設等 (令和7年8月)

コンビニ	1	スーパー・商店	1	ドラッグストア	0	郵便局・金融機関	3
------	---	---------	---	---------	---	----------	---

高齢者の居場所 (令和7年7月)

4	たんぼぼ会、才田ニコニコ会、松尾なかよし会、香川県スポーツウエルネス吹矢庵治支部
---	--

老人クラブの活動・コミセン活動・認知症カフェの活動等 (令和7年7月)

コミセン活動: 絵手紙、健康いきいき体操、己書など月に1回ずつ実施
19の同好会を月1~4回程度開催

認知症カフェ: あじの里カフェ (毎月第2金曜日10:00~12:00 Yショップ むらいで開催)

老人介護支援センターの活動 (令和7年7月)

あじの里老人介護支援センター: 子ども食堂 (異世代交流めざす)

○地域特徴分析

地域特性

- ・四国本土最北端に位置し、三方を瀬戸内海に囲まれた緑豊かな地区である。主な産業は石材業や漁業で、兼業の世帯が多く「石と魚の町」と言われている。公共交通機関はバスのみで主要幹線道路も少なく交通の便が課題である。急速な高齢化、人口減少に伴い、自治会を脱会する住民も増えている。
- ・市社会福祉協議会庵治支所や庵治地区民生委員児童委員協議会が中心となり、介護予防・生活支援サービス事業として「庵治支援隊」を立ち上げるなど、高齢者支援は強化されている。高齢者をサポートし民生委員に繋ぐ福祉委員という役割を地域で作っている。マンションやアパートなどの集合住宅が少なく、一軒家に住んでいる家庭が主なので、民生委員や福祉委員が各家庭を把握しやすい。
- ・医療機関は地区内には少なく、地区外の医療機関を受診する住民が多い。
- ・高齢化が進んでいる地区だが、介護保険認定率は市全体と比較して同程度である。

主な地区活動

市社協: 空き家の活用事業計画を立てているが、難しい現状がある。家財を置いて空き家になっている場所が多く、耐震の問題もあるため計画が進まない。

地区社協: 敬老会 (記念品配布のみ) 食事サービス (75歳以上高齢者に見守り・声掛けを兼ねて弁当配達)

訪問型サービスB (庵治支援隊): 草抜き、買物、ゴミ出し

居場所: 庵治には自治会が23個あり、それぞれが居場所作りを行っていたがコロナ禍により活動減少。わいわい祭りやバラスポーツ大会は世代間交流になっている。健康・福祉まつり (高齢者の参加多い)。

